



「笑顔とつながり」

# 永田台

ユネスコスクール11周年

No.545 5月号  
横浜市立永田台小学校  
TEL(714)4277  
令和3年4月30日



進んであいさつ  
笑顔あふれる  
住みよいまちに



## つながりを力に

校長 武山 朋子

南区版タウンニュースは毎週木曜日発行で、各ご家庭のポストに届けられていることでしょう。昨年の6月より、永田台小学校の様々な取組はなんと10回以上記事に取り上げられました。子どもたちの育てた野菜がサロンほっとサライの日替わりランチに提供されたこと、地域住民の方にコロナ禍におけるご苦労やまちへの思いをインタビューしたこと、まちの方を元気づけようとマラソン大会を企画し実施したこと、太鼓の演奏やプロジェクションマッピングの上映でまちを盛り上げようとしたこと、そんな様々な取組が紹介されました。

記者の方に尋ねると、「このまちは、地域の方がまちのことをだいに思い、本当に熱心にいろいろな活動をされているんですよ。」とおっしゃいます。また、地域の方からは、「学校がまちのことを元気づけようとしてくれているのがうれしいよ。」「子どもは宝だからね。」というお言葉をいただきます。こうして子どもたちが地域の方に温かく見守られていることで、保護者の皆様も安心して子育てができるのではないのでしょうか。

「今年度は地域と関わりながらどんな学びができるだろう」と、職員で話し合う研修の場をもちました。そこに今回初めて、学校地域コーディネータの山田さんにも参加していただきました。私たちは地域の「材」を教わり、また、山田さんには学校がどのように地域とつながる学びを生み出そうとしているのかを知っていただき、互いに今年の活動への期待を膨らませることができました。つながりをだいに、今年も学校からまちへと学びの場を広げていくつもりです。

先日、今年度の児童委員会活動でそれぞれの委員会の委員長となった6年生が、緊張した面持ちで校長室を訪れました。一人一人が委員長としての抱負を述べ、それを聞き取った校長から委任状を受け取るというセレモニーのためです。朝から「ああ、緊張する。」「昨日は寝られなかったんだよ。」「家で練習してきたんだ。」などと口にしていた9名は、昼休みに、校長室にやってきました。部屋の前で深呼吸をし、気持ちを整えてから入ってくるのが分かります。

「〇〇委員会委員長の〇〇です。」「私は去年の6年生の姿にあこがれて、委員長になりました。」「今年もコロナだからこそできることを考えていきます。」「学校のみんなを笑顔にします。」「命の大切さを伝えていきたいです。」「学校の環境をよりよくしていきます。」「……」

一人一人の意気込みを感じ、エネルギーに圧倒される思いで聞きました。そして委任状を手渡しました。去年の6年生の頑張りがつながっている。互いの学校への思いがつながっている。永田台の未来は明るく輝いています。

